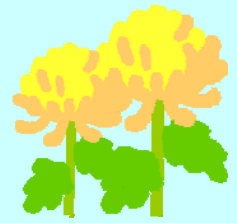




広島市立南観音小学校

学校だより



平成20年10月 発行者 教頭 須賀卓也

学校のホームページ <http://www.minamikanon-e.edu.city.hiroshima.jp>

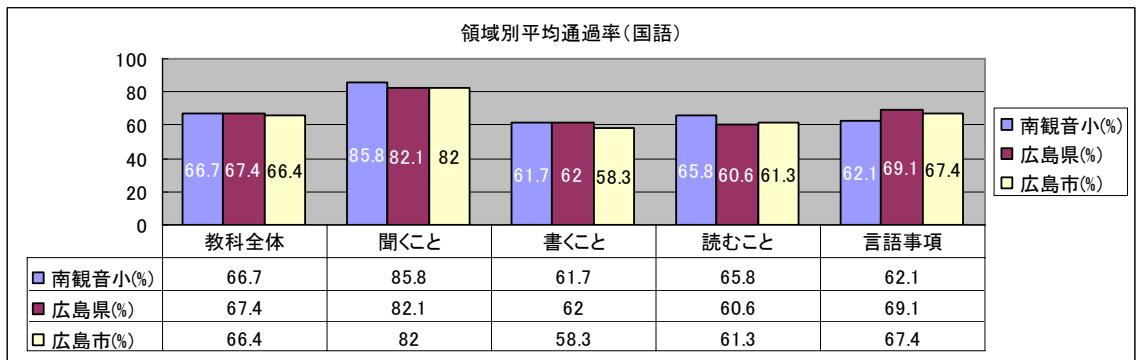
平成20年度 「基礎・基本」 定着状況調査の結果概要

5年生を対象に6月10日（火）に実施した「基礎・基本」定着状況調査の結果についてお知らせいたします。本調査は、「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な知識・技能や思考力・表現力などの定着状況、生活や学習に関する意識や実態を把握することで、課題を明確にし、指導方法の改善、充実を図るために行われているものです。結果を踏まえ確かな実践を進めていきたいと考えています。

1 国語科の調査結果

教科全体では、平均通過率が60%を超えていることから、基礎的・基本的な学習内容は、概ね定着していると考えられます。領域別にみると、「読むこと」「聞くこと」は、県及び市の平均通過率を上回り、「書くこと」はほぼ同じですが、「言語事項」は下回っています。

(1) 平均通過率 (国語)



(2) 課題と今後の取り組み

<課題となる内容>

■ 言語事項:既習の漢字の読み書きや文中の主語・述語の関係について注意すること。

<やや課題となる内容>

□ 書くこと:書く必要がある事柄を収集したり、選択したりして、理由を明確に叙述すること。

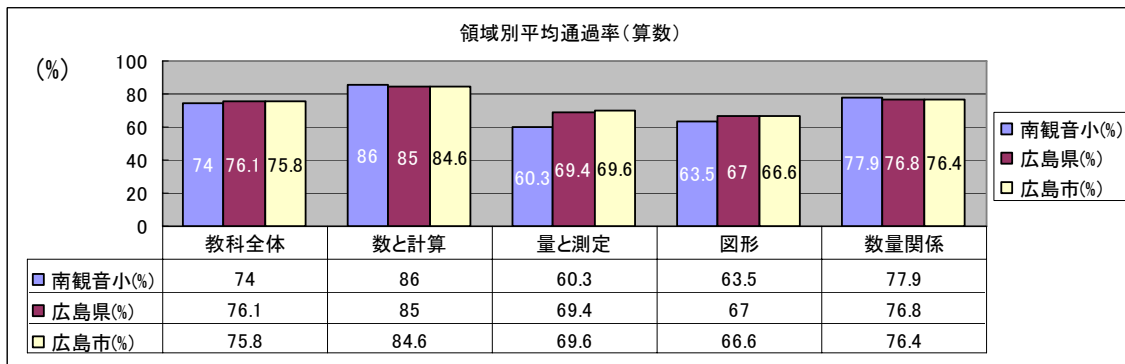
<取り組み>

- ・ 5年の新出漢字だけでなく、4年までの漢字の復習を定期的に行う。
- ・ 語い量を増やすために、読書活動を推進していく。
- ・ 「ことばタイム」における言語技術の指導を継続的・系統的に行っていく。
- ・ 辞書等で調べる習慣が身につくよう児童に声かけしていく。

2 算数科の調査結果

教科全体では、平均通過率が60%を超えていることから、基礎的・基本的な学習内容は概ね定着していると考えられます。領域別にみると、「数と計算」「数量関係」では県及び市の平均通過率をやや上回っていますが、「量と測定」「図形」では下回っています。

(1) 領域別平均通過率(算数)



(2) 課題と今後の取り組み

<課題となる内容>

■ 量と測定：適切にかさや面積の単位を使うこと。面積を任意単位のいくつ分と考えて比較すること。

<やや課題となる内容>

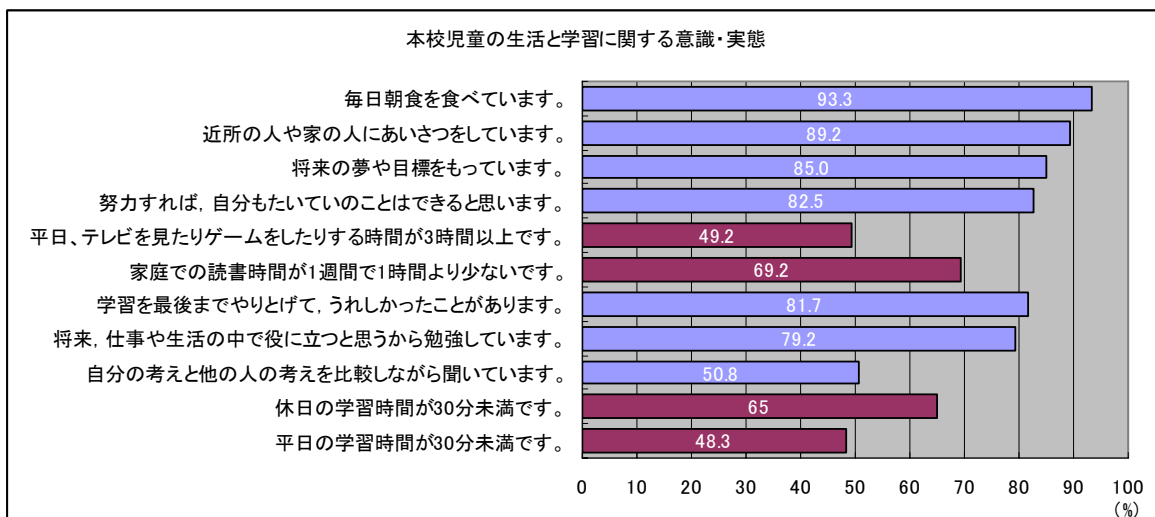
□ 図形：図形の基礎的な特徴をとらえること。

□ 問題文を十分理解して読み取ること。

<取り組み>

- ・ 具体物を使って、実体験の中で量や形などの数量的感覚を身につけていく。
- ・ 文章題においては、書いてある内容を図や数直線などに表すようにさせる。
- ・ 授業の中で、自分の考えを既習事項を使って説明できる機会を増やしていく。
- ・ 4年生までの復習を定期的に行っていく。(文章題を含めて)

3 生活と学習に関する意識・実態について



ほとんどの児童が毎日朝食を食べ、楽しく登校しています。夢や目標を持ち、自分の良さを感じている児童や学習を最後までやりとげてうれしかった経験をもつ児童も多くいます。

ただ、家庭での読書や学習の時間が少なく、テレビやゲームの時間が多い傾向にあります。読書や学習の時間について考えたり、テレビやゲームの時間について話し合ったりするなど、家庭での過ごし方について連携を取りながら進めていけたらと思っています。